



平成27年5月13日

各 位

上場会社名 株式会社東京精密
 代表者名 代表取締役社長 吉田 均
 (コード番号 7729 東証第一部)
 問合せ責任者 取締役業務会社管掌
 川村 浩一
 (TEL 042-642-1701)

平成27年3月期剰余金の配当と次期以降の株主還元方針に関するお知らせ

当社は、平成27年5月13日開催の取締役会において、平成27年3月31日を基準とする剰余金の配当および次期以降の株主還元方針について決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお平成27年3月31日を基準とする剰余金の配当については、平成27年6月23日開催予定の第92期定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 平成27年3月期剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年2月12日公表)	前期実績 (平成26年3月期)
基準日	平成27年3月31日	同左	平成26年3月31日
1株当たり配当金	33円	26円	13円
配当金の総額	1,363百万円	—	536百万円
効力発生日	平成27年6月24日	—	平成26年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、剰余金の配当につきましては、株主の皆様へ継続的な利益還元を行うことを経営の重要課題と考え、連結業績、財政状況、事業拡大のための投資及び株主の皆様の長期的視点等を考慮して決定しております。

平成27年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績等を総合的に勘案し株主の皆様のご支援にお応えするため、下記次期以降の株主還元方針との平仄も踏まえ、直近の配当予想1株当たり26円から7円増配し、33円とさせていただきますことといたしました。

この結果、当期の1株当たりの年間配当金は、既に実施しております中間配当金22円と合わせて、前期に比べて32円増配の55円となる予定です。

(参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	22円	33円	55円
前期実績(平成26年3月期)	10円	13円	23円

3. 次期以降の株主還元方針

当社は、成長分野において最先端技術を駆使した世界No.1商品を提供し続けることにより企業価値を高め、株主の皆様への継続的な利益還元を図ることを経営の最重要課題と考えています。

次期以降の配当政策につきましては、業績に連動した利益配分を実施することを基本に、連結配当性向25%程度を目安として実施していく考えです。また、安定的・継続的に配当を行なうよう努めていく観点から、連結利益水準にかかわらず年20円の配当は維持してまいります。但し2期連続赤字になる場合は、見直す可能性があります。

当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としています。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会となっております。

内部留保資金につきましては、景気変動の影響を大きく受ける製品群を有することから財務体質の健全性の維持・強化に十分配慮しつつ、先進技術の研究開発や設備投資、海外展開、情報システムの高度化、新規事業分野の開拓、M&A投資等に有効に活用してまいります。

なお、自己株式の取得につきましては、キャッシュフローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、剰余金の配当を補完する機動的な利益還元策と位置づけています。

次期の剰余金の配当につきましては、以上の配当方針に基づきまして、年間配当金1株当たり52円（中間配当26円、期末配当26円）を予定しています。何卒、ご理解のほどお願いいたします。

以上